












会 告

| | |
|---|----|
| 平成 16 年度農業土木学会大会講演会の開催（第 1 報）  | 70 |
| 平成 16 年度農業土木学会大会講演会の講演会申込み  | 70 |
| 平成 16 年度農業土木学会大会講演会における企画セッション募集 | 75 |
| 研究部会長の交代 | 75 |
| 第 36 回中央研修会 都市と農村の共生・対流に向けた新たな農業農村整備の展開方向（再）  | 76 |
| 「寒冷乾燥気候アジアにおける砂漠化進行農地および草原の修復と貧困改善対策」 プロジェクト第 3 回ワークショップの開催（第 1 報）  | 76 |
| 国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿の勧め | 76 |
| 国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」の購読の勧め | 77 |
| 農業土木学会誌への投稿お待ちしております！小特集以外の投稿も歓迎します。 | 78 |
| あなたの写真で学会誌の表紙を飾ってみませんか 平成 17 年表紙写真募集 | 78 |
| 北海道支部地方講習会の開催（第 3 報）  | 79 |
| 第 1 回水土文化研究会の開催（第 1 報）  | 79 |
| 田園再生シンポジウム 自然と共生した農村づくり 開催 | 80 |
| 学会記事 | 81 |

農業土木学会（本部）行事の平成 15・16 年度計画

農業土木学会（本部）15 年度行事について、下表のように、計画いたしました。奮ってご参加下さるようお願いいたします。

 のマークが付されているものは農業土木技術者継続教育認定プログラム、または認定申請中  を表しています。

| 開催日 | 主催 | 行事名 | テーマ | 開催場所 | 掲載号 |
|-----------------------|---------------------|---|---------------------------------------|---------------|---------------|
| 平成 16 年 1 月 21 日 | 行事企画委員会 | 第 36 回中央研修会  | 都市と農村の共生・対流に向けた新たな農業農村整備のあり方について | 東京大学弥生講堂(文京区) | 71 巻 9~12号 |
| 平成 16 年 2 月 21 日 | 地球環境委員会 | 第 3 回ワークショップ  | 「寒冷乾燥気候アジアにおける砂漠化進行農地および草原の修復と貧困改善対策」 | 岡山市 | 72 巻 1 号 |
| 平成 16 年 9 月 7~10 日 | 平成 16 年度大会 運営委員会 | 平成 16 年度大会講演会  | | 札幌市 | 72 巻 1 号 |

農業土木学会関連行事予定

| | | | | | |
|------------------|----------|--|---|--------------|------------------|
| 平成 16 年 1 月 15 日 | 農村道路研究部会 | 第 13 回研究発表会  | 広域農道の見直しについて | 湘南地区行政センター | 71 巻 11 号 |
| 平成 16 年 1 月 27 日 | 京都支部 | 支部研修会  | 設計基準・設計「ダム」の改定の解説と環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計・解説について | 京都市 | 71 巻 12 号 |
| 平成 16 年 1 月 28 日 | 北海道支部 | 地方講習会  | 設計基準・設計「ダム」の改定の解説と環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計・解説について | 札幌サンブラザ(札幌市) | 71 巻 11, 12 号 |
| 平成 16 年 2 月 3 日 | 関東支部 | 支部研修会・地方講習会  | 設計基準・設計「ダム」の改定の解説と環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計・解説について | 土浦市 | 71 巻 12 号 |
| 平成 16 年 2 月 5 日 | 京都支部 | 第 24 回シンポジウム  | 農業水利施設の機能診断と保全・更新 | 金沢市 | 71 巻 12 号 |
| 平成 16 年 2 月 27 日 | 材料施工研究部会 | 第 41 回シンポジウム  | 性能照査設計とは何か | 鳥取市 | 71 巻 11, 12 号 |
| 平成 16 年 3 月 18 日 | 水土文化研究部会 | 第 1 回研究会  | 水土文化研究のフレームと方向性 | つくば市 | 72 巻 1 号 |

平成 16 年度農業土木学会大会講演会の開催について (第 1 報)

平成 16 年度農業土木学会大会運営委員会

(農業土木技術者継続教育プログラム認定申請予定)



平成 16 年度農業土木学会大会講演会は、下記により開催の予定です。なお、詳細は続報にてお知らせいたします。

- | | | | |
|---------|--|----------|-------------------------------|
| 1. 開催期日 | 平成 16 年 9 月 7 日 (火) ~ 10 日 (金) | 3. 講演会 | 平成 16 年 9 月 7 日 (火) ~ 9 日 (木) |
| 2. 主会場 | 札幌市 北海学園大学 豊平キャンパス 札幌市豊平区旭町 4 丁目 1 40 (地下鉄東豊線「学園前」駅直結) | 4. 交流会 | 平成 16 年 9 月 7 日 (火) |
| | | 5. 現地研修会 | 平成 16 年 9 月 10 日 (金) |

平成 16 年度農業土木学会大会講演会の講演申込みについて

研究委員会

(農業土木技術者継続教育プログラム認定申請予定)



平成 16 年度農業土木学会大会講演会は、平成 16 年 9 月 7 日 (火)、8 日 (水)、9 日 (木) の 3 日間、札幌市豊平区の北海学園大学豊平キャンパスで開催されます。また、10 日 (金) には現地研修会が行われます。この講演会で講演発表を行いたい方は、下記要領にてお申し込みください。

今回のご案内は講演発表の申込みに関するものです。大会への参加全般に関するご案内は、学会誌 3 月号でお知らせします。

また当大会講演会では、講演要旨集を CD ROM へ本格移行するとともに、大会プログラム、平成 16 年度学会賞の概要、各講演の 200 字要旨などを 1 冊にまとめた大会概要集を配布する予定です。従来の印刷製本された講演要旨集も頒布しますが、詳細は学会誌 3 月号でお知らせします。

1. 講演要領

- (1) **講演資格**：口頭発表者は、本学会会員に限ります。講演申込受付の際、会員番号を確認いたします。平成 16 年 4 月入会も可とします。非会員の口頭発表は認めません。
- (2) **講演内容**：学術講演会にふさわしい内容を備えたもので、原則として未発表のものを受付けます。現場からの報告も歓迎します。
- (3) **講演部門**：11 部門あります。ただし、プログラム編成上、希望部門が変更される場合もあります。
- (4) **講演方法**：個人発表とし、1 人 (共同研究の場合は口頭発表者) 1 課題とします。ただし、企画セッションについては、研究発表セッションとの複数発表を認めます。
講演発表の補助として、OHP および液晶プロジェクターを準備します。スライドプロジェクターや VTR などは準備いたしません。これらの持ち込みは可能です。自前の機器を使用される場合、投票票にその旨を記入するとともに、発表当日は進行の妨げにならないようにして下さい。
- (5) **講演時間**：1 課題 15 分 (発表 12 分、質疑 3 分) です。
- (6) **講演要旨集**：(2) にあてはまるすべての原稿を講演要旨集に収録します。
- (7) **大会概要集**：投票票のうち、講演題目、発表者所属、氏名、講演の 200 字概要を、大会概要集に収録します。

2. 投稿要領

- (1) 所定の投票票と講演原稿一式の提出および申込料 2,100 円 (消費税込み) の納入をもって申込みとみなします。なお、送金後に発表を取消されても、申込料は返金いたしません。郵便振替用紙および入会申込書は、本誌巻末に綴じ込んであります。
- (2) 投稿原稿は、図・表・写真などを含め 1 課題 2 ページとします。市販の A4 判上質紙 (コピー用紙等、ただし感熱紙は不可) に印字した原稿で投稿していただきます。後述の「4 講演原稿の書き方」に従い、執筆して下さい。
- (3) CD ROM 版講演要旨集の作成にご協力ください。CD ROM 作成を容易にするため、投稿原稿のファイルを PDF 形式に変換して提出してください。ファイルの提出がなかった原稿については、紙原稿を画像としてスキャンしたものを CD ROM 版講演要旨集に収録します。
- (4) プログラム編成作業の都合上、投票票と同じ内容の Excel ファイルを、必ず提出してください。
- (5) 投稿原稿 PDF ファイルならびに投票票 Excel ファイルのファイル名は、半角ローマ字表記の口頭発表者名 (姓名) としてください (例：「hokkai tarou.pdf」、「hokkai tarou.xls」)。これらファイルを電子メールで送る場合の宛先は、taikai@jsidre.or.jp です。

メール発信の際、表題 (Subject) も口頭発表者名として下さい。また、添付ファイルの大きさにご注意ください。

これらファイルの送付を電子メールに依らない場合は、口頭発表者名が表面に記されたフロッピーディスクまたは CD ROM で提出してください。

(6) 投稿にあたっては、次の書類等を同封し、郵送の場合は事故防止のため必ず簡易書留郵便にて、表に講演要旨在中と朱書きしてご送付下さい。原稿は、汚したり、折ったり、しわにならないよう十分注意して、A4 サイズの封筒 (角型 2 号) で送付して下さい。受領はがきの表には返送先を、裏には講演題目と口頭発表者名を必ず明記して下さい。なお、はがきが同封されていない場合は、受領確認の通知はいたしません。

- 1) 講演申込料の振替の写し
 - 2) 原稿
 - 3) 原稿コピー 4 部
 - 4) 投稿票
 - 5) 投稿票コピー 2 部
 - 6) 投稿票 Excel ファイル (FD または CD ROM, 電子メールでも可)
 - 7) CD ROM 版講演要旨集用 PDF ファイル (FD または CD ROM, 電子メールでも可)
- 6)と7)は、一つのメディアと一緒に入っていてもかまいません。
- 8) 発表原稿受領はがき (官製はがき)
 - 9) 入会申込書 (非会員のみ)

(7) 締切は、平成 16 年 3 月 31 日 (水) 消印有効 (遅延は不可)

(8) 申込・問合せ先 農業土木学会事務局大会担当 (花塚) あて

〒105 0004 東京都港区新橋 5 34 4 農業土木会館内

☎ : 03 3436 3418 FAX : 03 3435 8494

E mail: taikai@jsidre.or.jp

郵便振替 : 00160 8 47993 (加入者名 : 農業土木学会)

3. 投稿票

下記注意事項を参照の上、必要事項を記入して原稿に添付して提出して下さい。投稿票の内容の一部は大会概要集に収録します。

- (1) 必ず会員番号を記入して下さい (4 月入会者は不要)。
 - (2) 講演の概要は、わかりやすく、必ず日本語で記入して下さい。
 - (3) プログラム編成に使用しますので、講演者氏名、所属機関、講演題目 (副題も含めて) は、必ず講演原稿と一致させて下さい。
 - (4) 講演希望部門 (第 1 希望・第 2 希望) とキーワードを必ず記入して下さい。キーワードは講演内容にふさわしいものを文字で記入して下さい。キーワードの例は、本誌 73 ページに掲載されていますが、必ずしもこの中から選択する必要はありません。
 - (5) 投稿票および投稿票 Excel ファイルは、下記の様式で作成して下さい。投稿票の様式は本誌 74 ページにあります。また、Excel ファイルの様式は、<http://www.jsidre.or.jp/taikai/>よりダウンロードできます。
- (下の表の 2 段目、3 段目は、1 段目の右側にそれぞれ続けて作成して下さい)

| | 口頭 発表者 印 | 会員番号 | 氏名 | フリガナ | ローマ字(姓 名) | 所属(和) | 所属(英) | 代表者 連絡先〒 | 代表者連絡先住所 |
|---|----------------|------|----|------|-----------|-------|-------|-------------|----------|
| 1 | | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | |

下の段を右につづける

| 代表者連絡先 TEL | 代表者連絡先 FAX | 代表者連絡先 E mail | 講演題目 | 講演題目(英文) | 第 1 講演 希望部門 | 第 2 講演 希望部門 |
|---------------|---------------|---------------|------|----------|----------------|----------------|
| | | | | | | |
| | | | | | | |

次ページの段を右につづける

| キーワード1 | キーワード2 | キーワード3 | 写真 枚数 | 図 枚数 | 表 枚数 | 参考 文献 数 | 使用 機材 | 講演の概要 (200字以内) |
|--------|--------|--------|----------|---------|---------|---------------|----------|-------------------|
| | | | | | | | | |

4. 講演原稿の書き方

(1) 原稿用紙は、A4判(横210mm, 縦297mm)の白紙とし、印刷の都合上、マージンは次のようにして下さい。

上: 25mm, 下: 27mm, 左: 23mm, 右: 25mm

(2) 原稿は、オフセット印刷で縮写され、B5判の大きさになります。

(3) 書式

文字: 文字は、10.5ポイント以上として下さい。標準フォントとして、MS明朝、MSゴシック、平成明朝、平成ゴシックをお使いください。特殊なフォントは極力使わないでください。また、機種依存文字(、,、...、,、...など)も使わないでください。

上下左右のマージン内いっばいに、1行40字、1ページ40行、横書きを標準として印字して下さい。ワープロソフトによりこの組み合わせができない場合は、上下左右のマージン内に必ず収まるようにして下さい。

題目・所属・氏名・本文: 本文原稿の題目は、1ページ目第1行と第2行に中央に寄せ、12~14ポイントで和英併記して下さい。

講演者氏名(連名の場合には口頭発表者名の前に印をつける)は、第4行と第5行に中央に寄せ、10~12ポイントで和英併記して下さい。

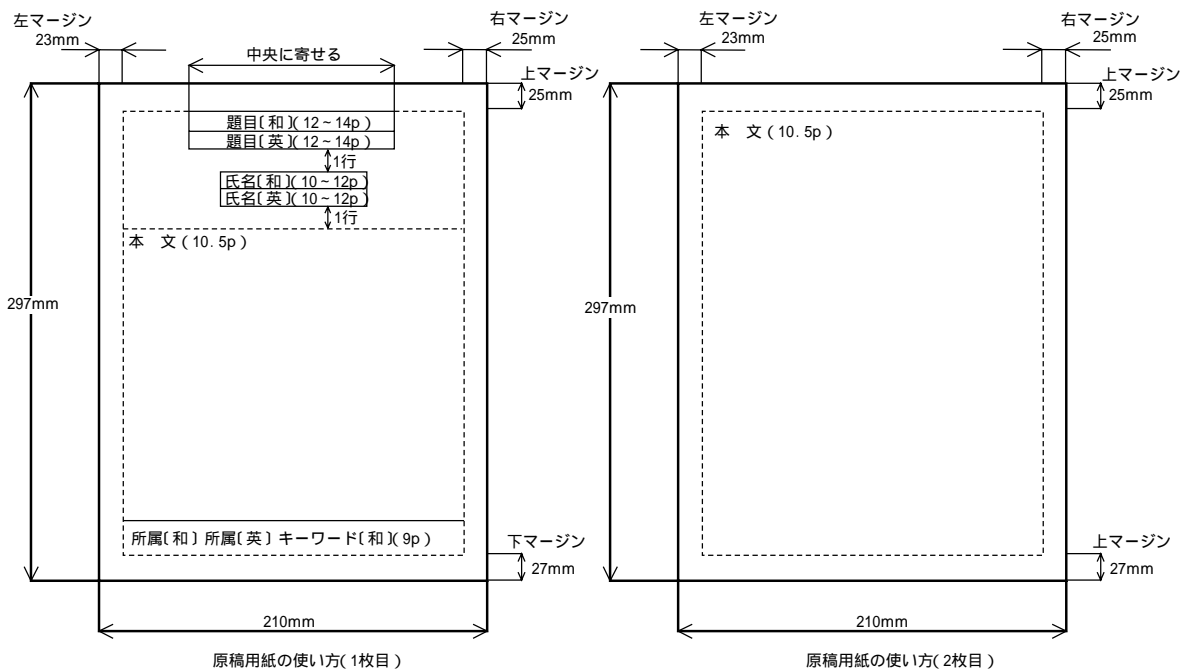
所属は、1ページ目本文の下に横線を引き、その次の行に左に寄せ9ポイントで1行に和英併記して下さい。所属に続けてキーワード〔和〕を書いて下さい。なお、講演者および所属が複数ある場合は、講演者名の右上に*や**を付けて、講演者と所属が対応するようにして下さい。

本文は、第7行から書き始めて下さい。2ページ目は第1行から書いて下さい。

図・表・写真: 本文とともに原稿用紙内に書込み(あるいは貼込み)、幅いっばいにならない図・表・写真は右側に寄せ、左側の空白に本文を書くようにして下さい。なお、図表表題にも英語を併記して下さい。

(4) その他: 2枚の原稿(コピー含む)の裏面右上に、鉛筆で、口頭発表者名およびページを記入して下さい。

5. 著作権 講演要旨集と大会概要集に掲載された要旨等の著作権(著作財産権、コピーライト)は、(社)農業土木学会に帰属します。また、講演の概要等は科学技術振興機構(JST)に提供されます。



| キーワード表 | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 水 理 | 2. 水文・気象 | 3. 土 壌 物 理 | 4. 土 質 力 学 |
| 流体力学一般 管・開水路流れ 河口・感潮域の水理 土砂水理 河川工学 水利システムの計測・管理・制御 水環境・水質 水利構造物 水理学的波動 数値流体力学 | 水文統計 水収支・水循環 降雨特性 流出特性 洪水流出 長期流出 浸透流・地下水 蒸発・蒸発散 気象環境 気象災害 水資源開発・管理 降雪・融雪 水質水文 エネルギー循環 | 土壌の物理化学的性質 土壌構造 間隙構造 水分移動 溶質移動 保水性 土壌空気 レオロジー コロイド・粘土 土壌の熱的性質 凍上・凍結 土壌の生成・分類 土壌環境と植物根系 土壌微生物・土壌動物 特殊土壌 | 土の静力学的性質 土の動力学的性質 地下浸透・地下水流動 圧密・締固め 斜面安定・土圧・支持力 土構造物の解析 土構造物の地震時挙動 基礎工 土の分類 地盤の変形 安定処理・地盤改良 土構造 |
| 5. 応用力学 | 6. 材料・施工 | 7. 灌 漑 排 水 | 8. 農地造成・整備・保全 |
| 構造物の静力学的性質 構造物の動力学的性質 地震工学 構造物の設計手法 逆解析 岩盤力学 構造物・地盤等の連成問題 個体力学 構造力学 数値解析 | コンクリート材料 コンクリートの性質 鉄筋コンクリート 特殊コンクリート 配合設計 二次製品 工法・施工 管理 施工機械 リサイクル 安全性 舗装 金属材料・瀝青材料・高分子材料 建設残土・廃棄物 | 計画手法 水田灌漑 畑地灌漑 灌漑施設 灌漑水温 水質制御 用水管理 地表排水 地下排水 排水施設 排水管理 | 農地造成 圃場整備 農地保全 土層改良 土壌改良 農地の汎用化 緑化 土壌侵食 干拓 農地保全施設 海岸保全施設 アグロフォレストリ 地下水保全・地下水汚染 農地環境 |
| 9. 農 村 計 画 | 10. 環 境 | 11. 海外事情・情報処理・その他 | |
| 産業経済計画 社会計画 土地利用計画 水利用計画・水利権 農用地計画・整備 集落計画 集落排水 道路計画・整備 生活施設 生産施設 農村振興 中山間地域 農地景観 | A. 環境保全 環境影響評価 水質 大気 土壌 地下環境 砂漠化 地球環境 ----- B. 生態系 緑地 親水 ビオトープ | 海外 現場報告 測量・GIS リモートセンシング プログラミング手法 通信・インターネット エネルギー 電磁波・光 複雑系 新素材・新手法 新手法 水産土木 農業土木教育 | |

| | | | | |
|------|-----|-------|------|------|
| 受付月日 | No. | 申込金受領 | 会場番号 | 講演番号 |
| | | | | |

平成16年度大会講演会投稿票

1. 講演者の氏名・所属機関 (共同研究の場合は、口頭発表者に印をつけて下さい。氏名の順序は原稿と一致させて下さい。)

| 印 | 会 員 番 号 | 氏 名 (フリガナ) | | 所 属 機 関 |
|---|---------|------------|--|---------|
| | | ローマ字 (姓_名) | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

講演者の連絡先 (住 所) 〒 _____ (TEL) _____
 E mail _____ (FAX) _____

Excel ファイルの送付方法 同封 FD/CD ROM E mail 送信 (送信日: _____)

2. 講演題目 (題目および副題は、必ず本文と同じものを記入して下さい。)

(和文) _____

 (英文) _____

3. 講演希望部門 (第1希望部門と、第2希望部門を数字で記入して下さい。)

| | | | |
|------|--|------|--|
| 第1希望 | | 第2希望 | |
|------|--|------|--|

1. 水理 2. 水文・気象 3. 土壌物理 4. 土質力学 5. 応用力学 6. 材料・施工
 7. 灌漑排水 8. 農地造成・整備・保全 9. 農村計画 10 A. 環境 10 B. 環境 11. 海外事情・情報処理・その他

4. キーワード (上記の講演希望部門に関連したキーワードを1個以上、記入して下さい。)

| | | | | | |
|---|--|---|--|---|--|
| 1 | | 2 | | 3 | |
|---|--|---|--|---|--|

5. 図表などの数

| | | | |
|------|-----|-----|--------|
| 写真の数 | 図の数 | 表の数 | 参考文献の数 |
| | | | |

6. 発表使用機材

1. OHP 2. 液晶プロジェクター 3. その他 (_____)

7. 講演の概要 (200字以内) (必ず日本語で記入して下さい。)

(20字×10行)

平成 16 年度大会講演会における「企画セッション」の募集

研究委員会

平成 16 年度大会(9月7~9日,札幌市豊平区・北海学園大学豊平キャンパス)における企画セッションの「オーガナイザーならびにテーマ」を募集します。企画セッションの「企画」をお持ちの方はふるってご応募ください。

企画セッションのタイプは、オーガナイザーが事前に発表者を予定しておく「クローズド・タイプ」、発表者をオーガナイザーが公募する「オープン・タイプ」、のいずれかとなります。

企画の申込締切は**1月30日(金)**です。お申込みにあたって、下記事項を学会事務局(taikai@jsidre.or.jp)まで電子メールにてお知らせください。

- 1) 企画セッションのタイプ「オープン・タイプ」、「クローズド・タイプ」
- 2) 企画セッションのテーマ
- 3) オーガナイザーの氏名、所属、連絡先電話・FAX・E mail
- 4) 企画セッションの概要(200字以内)

「企画セッション」は、特定のトピックスについて、原則90分間のセッションを、オーガナイザーが責任を持って企画・運営するセッションです。いわばオーガナイザーに「おまかせ」のセッションです。セッション内の進行は、通常の発表スタイルはもちろぬ、パネルディスカッション、会場の聴衆を含めた討論方式、等も可能です。ただし、セッションを単独の演者が独占する講演会のスタイルは認められません。各セッションとも、最低2~3名以上の発表があることが前提です。

企画セッションのテーマには、科研費研究グループや各種プロジェクトの成果発表、特定テーマに関する最新情報の紹介、等を想定していますが、会員の皆様の自由な発想で企画セッションを利用してください。

なお従来、各研究部会が大会期間中に開いていた研究集会も、

この企画セッションの一つとして実施していただきます。したがって、研究部会は、企画セッションの開催に向け研究集会の内容をご検討ください。

企画セッションでの発表者は、従来の研究発表セッションとの複数発表を認めます。ただし、企画セッションでの発表は、プログラム編成上の理由から、1人1件に限ります。

なお、企画セッションとはいえ、従来の研究発表と同等ですので、講演要旨集には従来どおり講演内容を掲載します。オーガナイザーにはセッションの原稿取りまとめをお願いします。また、各セッションは90分を予定していますが、プログラムのブロック割りのため、セッション時間が90分より多少前後する可能性があることをあらかじめご了承ください。

今後のスケジュールは、以下のとおりです。

1. オーガナイザーとセッション・テーマの募集締切: **1月30日(金)**
2. 研究委員会で調整の後、応募テーマの採否の連絡: **2月10日(火)頃**
3. 企画テーマの学会ホームページ上での公開と「オープン・タイプ」セッション発表者の公募開始(発表申込は各オーガナイザーに直接): **2月10日(火)頃**
4. 「オープン・タイプ」セッション発表者の公募締切: **2月27日(金)**
5. オーガナイザーからセッションの講演要旨原稿の提出締切: **3月31日(水)**

申込・問合せ先: (社) 農業土木学会大会企画セッション担当(花塚)
〒105 0004 東京都港区新橋5 34 4
☎: 03 3436 3418 FAX: 03 3435 8494
E mail: taikai@jsidre.or.jp

研究部会長の交代について

下記研究部会長の平成 15 年度交代が行われましたので、お知らせいたします。

農村計画研究部会

(新) 有田博之 (新潟大学農学部教授) (前) 松村洋夫

畑地整備研究部会

(新) 西山壮一 (山口大学農学部教授) (前) 中野芳輔

材料施工研究部会

(新) 服部九二雄 (鳥取大学農学部教授) (前) 甲本達也

水文・水環境研究部会

(新) 中曽根英雄 (茨城大学農学部教授) (前) 四ヶ所四男美

第36回中央研修会・都市と農村の共生・対流に向けた農業農村整備の展開方向(再)

行事企画委員会

農業土木技術者継続教育プログラム認定



本年度の中央研修会は、下記により開催されます。多数のご参加をお待ちしております。

お申込みは、第71巻7号、p.108または学会HPの申込様式をご利用下さい。

1. 主催：農業土木学会行事企画委員会

2. 期日：平成16年1月21日(水) 10:00~16:45

3. 場所：東京大学弥生講堂「一条ホール」文京区弥生1-1-1

4. プログラム(予定)

【開会挨拶】

10:00~10:10 農業土木学会行事企画委員長 水資源機構理事
松浦 良和

【講演】

10:10~11:20 「農業農村整備に関連した都市と農村の共生・対流のための人材や体制づくり」

東京大学大学院 佐藤洋平

11:20~12:20 「農業農村整備とNPOについて」

特定非営利活動法人あぐりねっと21(宮城県農業短期大学)

加藤 徹

特定非営利活動法人あぐりねっと21(仙台土木設計)

佐々木 甲也

13:20~14:30 「農業農村整備事業、特に水環境整備事業などの

農村地域の環境整備事業が果たした都市と農村の共生と対流に関わる事例報告」

水士里ネット立梅用水事務局 高橋幸照

14:30~15:30 「都市と農村の共生や対流に求められる地域づくり」

農山漁村文化協会 甲斐良治

15:40~16:40 「都市と農村の共生・対流に向けた美しい村づくり」

農林水産省農村振興局 斉藤 政満

【閉会】 16:40~16:45

*なお、都合により一部プログラムが変更されることもあります。予めご了承下さい。

5. 定員 300名程度

6. 参加費

会員 6,000円 学生会員 3,000円 非会員 10,000円

注)参加費には、テキスト代を含みますが、昼食等は含まれておりません。

7. 申込期限 平成16年1月13日(火)

8. 問合せ先 (社)農業土木学会行事企画委員会担当 吉本

☎03 3436 3418 FAX 03 3435 8494

「寒冷乾燥気候アジアにおける砂漠化進行農地および草原の修復と貧困改善対策」プロジェクト第3回ワークショップの開催(第1報)

地球環境研究委員会

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



本委員会の2003年度活動として、標記プロジェクトの第3回ワークショップを下記の通り開催いたします。関心をお持ちの方、多数の参加をお待ちしています。

1. 主催：農業土木学会地球環境研究委員会

2. 日時：2004年2月21日(土) 13:30~17:00

(情報交換会 17:30~19:30)

3. 場所：岡山市津島新野1-1-22 「つしま苑」

☎086 252 1331

4. 定員 50名程度

5. 参加費 無料

6. 問合せ先・申込先

赤江 剛夫 akae@cc.okayama.u.ac.jp

岡山大学 環境理工学部 環境管理工学科

☎& Fax: 086 251 8874

*このワークショップは、平成15年度環境事業団地球環境基金の助成を受けて開催されます。

国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿の勧め

農業土木学会では、日本、韓国、台湾を中心としたアジアモンスーン地域の各国地域、各国際機関の農業土木学関連学・協会等と連携して、新たな国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を発刊しています。

最近、我が国においても学術誌の評価にSCI(Science Citation Index)のIF(Impact Factor)が利用されて始めておりますが、本国際ジャーナルでもIF(Impact Factor)の取得により高い評価の定着を目指しています。

掲載論文は、Review、Article、Short Communication および、Technical Report の4種類です。

また、世界13国からEditorを選出することにより、国際ジャーナルとしての質を高める編集体制を採用し、さらに国際的な流通を考慮して、国際出版社として著名なSpringer Verlag社からの刊行としました。

発刊回数は、投稿から掲載までの時間を短縮するとともに、SCI獲得のために年4回としております。投稿者は購読会員に限りませんが、**投稿料、掲載料などを無料**として投稿者の負担を軽くするように配慮しています。

皆様方の多数の投稿を期待しております。

編集方針：水田農業における土地と水と環境に関する科学と技術の発展への貢献を目的としている。

その分野は、水田農業地帯における灌漑と排水、土壌保全、土地資源や水資源の保全と管理、水田の多面的機能、農業政策、地域計画、バイオ環境システム、生態系の保全、水田保全、田畑輪換等である。

編集体制：

- Editor in Chief : Dr . Yohei Sato (Japan)
- Editors : Dr . Luis Santos PEREIRA (Portugal), Dr . Mauro GREPP(Italy), Dr . Jesda KAEWKULAYA(Thailand), Dr . Chun E KAN(Taiwan), Dr . Kenneth K . TANJI (USA), Dr . Lingen CA(China), Dr . Sietan CHIENG (Canada), Dr . To Phuc TUONG (Philippines), Dr . Yoshisuke NAKANO (Japan), Dr . Seung Woo PARK (Korea), Dr . André MUSY (Switzerland), Dr . Shahid AHMAD(Pakistan), Dr . Soedodo HARDJOAMIDJOJO (Indonesia)
- Editing Board : Dr . Tai Cheol KIM(Korea), Dr . Sang Ok

- CHUNG (Korea), Dr . Soon Kuk KWUN (Korea), Dr . Ming Hua TSAI (Taiwan), Dr . Ru Yih WANG (Taiwan), Dr . Ming Hsi HSU(Taiwan), Dr . Masayoshi SATOH(Japan), Dr . Yuji KOHGO(Japan), Dr . Jun-ichi HIROTA (Japan), Dr . Shuichi HASEGAWA (Japan), Dr . Elizabeth HUMPHREYS(Australia), Dr . Ji-esheng HUANG(China), Dr . Kam Suan PHENG(Philippines), Dr . V . R . REDDY(USA), Dr . Yuanhua LI (China), Dr . Aldo FERRERO(Italy), Dr . Ettore CAPRI (Italy), Dr . Tahir HUSSAIN(Pakistan), Dr . Muhammad LATIF(Pakistan), Dr . James E . HILL(USA), Dr . Lawrence J . SCHWANKL (USA), Dr . Richard M . KAMINSKI (USA), Dr . David MOLDEN (Sri Lanka), Dr . M . S . M . AMIN(Malaysia), Dr . Varawoot VUDHIVANICH (Thailand), Dr . Banchar KWANYUEN (Thailand), Dr . Tawatchai TINGSANCHAL(Thailand), Mr . Aly M . SHADY(Canada), Dr . Chandra Madramootoo (Canada), Mr . Brent PATERSON(Canada), Dr . Jifu YANG(China), Dr . Heping HU(China), Dr . Budi Indra SETIAWAN(Indonesia), Mr . Jean Luc SAUTIER (Switzerland) .
- Managing Editors : Dr . Yoshisuke NAKANO(Japan), Dr . Nobumasa HATCHO (Japan), Dr . Yoshito YUYAMA (Japan), Dr . Ke Sheng CHENG(Taiwan), Dr . Chun Gyeong YOON (Korea)

出版社：Springer Verlag社（ドイツ）

投稿資格：筆者全員が購読者であること。

投稿先：農業土木学会気付・中野芳輔宛で受付。

投稿要領等：<http://www.jsidre.or.jp> に詳細を記載しています。

国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」の購読の勧め

農業土木学会は、新たな国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」の創刊号を3月に刊行し、逐次年4回のペースで発行しています。

本ジャーナルでは、これまでの国際ジャーナルではあまり見られなかった、モンスーンアジア諸国の水田農業工学に関わる研究論文、技術論文も多数掲載されますので、研究者のみならず、各種事業に携わる技術者にとっても貴重な学術情報誌となることが期待されますので、たくさんの方々購読されることを望みます。

掲載論文の分野は、次のように幅広い内容となっています。

- ① 灌漑（水配分管理、水消費、灌漑施設、栽培管理）
- ② 排水（排水管理、排水施設）
- ③ 土壌保全（土壌改良、土壌物理）
- ④ 水資源保全（水源開発、水文）

- ⑤ 水田の多面的機能（洪水調節、地下水涵養など）
- ⑥ 生態系の保全（水生、陸生動物植物の生態系）
- ⑦ 地域計画（農村計画、土地利用計画など）
- ⑧ バイオ環境システム（水田農業と水環境、土壌環境、気象環境）
- ⑨ 水田の多目的利用（田畑転換、施設園芸）
- ⑩ 農業政策（農村振興、条件不利地の支援策など）

水田農業を通じた国際的な研究交流、情報交換の場として、皆様の購読をお勧めします。

出版社：Springer-Verlag社（ドイツ）

発刊スケジュール：創刊号・2003年3月、以後3カ月ごと

購読料：正会員 12,000円/年/4冊（送料等学会負担）

学生会員（院生含む）8,500円/年/4冊（送料等学会負担）

申込先：農業土木学会編集出版部 吉武宛

ホームページ：http://www.jsidre.or.jp

購読のお申込みは、学会HP (http://www.jsidre.or.jp/publ/ij/scope.htm) の「5. APPLICATION FORM FOR THE REGULAR SUBSCRIBER」にご記入のうえ、メールまたはFAXでお申込み

いただけます。

農業土木学会は、300部の購読者を募る義務を負っておりますが、現在238名(12月現在)であり、編集業務を含め年間数百万の赤字体質となっております。この窮状をお察しいただき入会されることをお願いします。

農業土木学会誌への投稿お待ちしております！小特集以外の投稿も歓迎します。

農業土木学会誌編集委員会

72巻・73巻の小特集テーマのお知らせと報文原稿の募集

小特集のテーマに沿った原稿を次表に従って広く会員から募集いたします。小特集以外の自主投稿も歓迎します。

また、今後取上げてほしい小特集のテーマについても、広く募集いたします。なお、小特集のテーマは仮題となっておりますので、予告なく変更することがございます。特集の趣旨をお読みいただいた後、公募原稿要旨を学会誌編集委員会へてお送りください。

採用された原稿の分量は、**刷上り4ページ**となっておりますので、ご執筆の際には厳守いただきますよう、お願いいたします。

学会誌第72巻8号～73巻5号までの小特集のテーマ(予定)

| 小 特 集 の テ ー マ | 要旨締切(必着) (A4判用紙,1,500字以内) | 原稿締切 |
|--------------------------------|------------------------------|------------|
| 8号 支部活動および中央研修会 | 公募なし | 平成16年3月15日 |
| 9号 国際コメ年(RICE YEAR 2004)(仮) | 平成16年2月27日 | 平成16年4月15日 |
| 10号 知的財産権(仮) | 平成16年3月31日 | 平成16年5月14日 |
| 11号 都市と農村の交流(農村観光)(仮) | 平成16年4月30日 | 平成16年6月15日 |
| 12号 国立大学法人化(仮) | 平成16年5月31日 | 平成16年7月15日 |
| 73巻 1号 水土文化遺産(仮) | | |
| 2号 ブロック編集担当号の予定です。 | | |
| 3号 貧困削減・平和構築と海外農業農村開発,食糧自給率(仮) | | |
| 4号 流域の水環境管理(減水深を含む)(仮) | | |
| 5号 技術者資格(仮) | | |

あなたの写真で学会誌の表紙を飾ってみませんか

—平成17年「農業土木学会誌」表紙写真の募集—

農業土木学会誌編集委員会

表紙写真の公募には、例年多くの方から応募いただいております。学会誌編集委員会では、平成17年も皆さまからの写真で表紙を飾ることを企画しました。つきましては、下記の要領で学会誌第73巻(平成17年1～12月号)の表紙写真を募集しますので、ふるってご応募下さい。

なお、単写真だけでなく、組写真による応募も受付けております。組写真では、3～4枚の写真を組み合わせて、ストーリー性を持たせた写真にして下さい。

記

1. 趣 旨 近代に至るまでわが国の土木技術者たちはその時々々の技術を結集し、稲作、ひいては国土を支えてきました。こうして築かれた「造形」の多くは周辺の風景と一体化しつつ、今もなお、その機能を十分に発揮しています。

学会誌編集委員会では、農業土木の先駆けとなったそうした農業水利遺産を見直すために、「先人たちの造形が織りなす風景」をテーマとし、学会誌の表紙を飾る写真を公募することとしました。皆さんの身近なところやふるさとで、先人たちの想いに心寄せながら、心に残る「一枚」を見つけ、ぜひお送りください。

なお、本来の機能を発揮している灌漑期だけでなく、静かにたたずむ非灌漑期の写真も、お待ちしております。

2. 写真の種類 単写真,組写真いずれもカラープリントでサイズは六つ切。組写真の場合は、そのことを明記して下さい。
3. 枚 数 応募点数には制限がありませんが、未発表のものに限ります。
4. 締 切 平成16年9月30日(必着)

5. **審査** 審査委員会（編集委員と写真家で構成）で12点を選びます。
6. **結果発表** 学会誌73巻第1号で入賞者と掲載号を発表し、入選作品は、平成17年度大会会場でパネル展示します。
7. **賞品** 入選作品1点につき3万円（表紙掲載料含む）。応募者には記念品をお贈りします。
8. **応募資格** 学会員でなくとも結構ですので、周囲の方々にもお勧め下さい。
9. **その他** 応募写真の裏面にタイトル、住所、氏名、年齢、職

業、性別、写真のテーマ、撮影場所、撮影月日、撮影データ（フィルム、使用カメラ）を記入して下さい。また、対象物の名称（固有名詞）、対象物をめぐる歴史的背景等の説明（いつ、だれが、どうして等）もお寄せ下さい。

原則として、応募写真は返却いたしません。なお、入選作の著作権は、(社)農業土木学会に属します。

10. **宛先** 〒105 0004 東京都港区新橋 5 34 4

(社)農業土木学会 農業土木学会誌編集委員会
「表紙写真公募」係

北海道支部講習会の開催について（第3報）

農業土木学会北海道支部

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



1. **テーマ**：北海道における「ダム技術」「環境に配慮した事業のあり方」
2. **日時**：平成16年1月28日（水）9：30～17：00
3. **会場**：札幌市・札幌サンプラザ
（札幌市北区北24条西5丁目）
4. **内容**：
 - (1) 土地改良事業計画設計基準・設計『ダム』の改定について
農林水産省農村振興局整備部設計課 松田文秀
 - (2) ダム設計と管理のための地質調査
（独）北海道開発土木研究所 伊東佳彦
 - (3) 農業用ダムの併用性と管理
（独）北海道開発土木研究所 秀島好昭
 - (4) 環境配慮の設計の現状と課題
（社）農村環境整備センター 鹿嶋弘律
 - (5) 環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の手引き 解説

- 農林水産省農村振興局計画部事業計画課 高石洋行
(6) 農村地域に創出した湿地と地域活動の役割
北海道立中央農業試験場農業環境部 須田達也
(7) 水生生物からみた環境配慮のあり方
NPO法人しりべつりパーネット 伊藤久由
5. **参加費用**：会 員 3,000円 非会員 4,000円
本部テキスト代および北海道支部作成資料代を含みます。当日会場にて申し受けます。
6. **参加申込先**：
〒060 8589 北海道大学農学部農業工学科内
農業土木学会北海道支部事務局 担当：柏木淳一
E mail: kashi@env.agr.hokudai.ac.jp
☎011 706 3641 FAX 011 706 4145
E mail または FAX にてお申し込み下さい。
7. **締切**：1月19日（月）

第1回 水土文化研究部会研究会の開催について（第1報）

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



1. **研究会の内容**
農業土木学会誌71巻9号(2003年9月号, pp.869～870)に掲載されました、農業土木学会水土文化研究部会の設立趣旨、ならびに活動内容に基づき、下記の通り水土文化研究会を開催します。
今回は第一回目の研究会ということもあり、水土文化研究の対象を幅広く探り、その持つ可能性について展望します。学会員皆様の幅広いご参加をお願い申し上げます。
2. **主催**：農業土木学会水土文化研究部会
3. **日時** 平成16年3月18日（木）13：30～16：30

4. **テーマ** 「水土文化研究のフレームと方向性」(仮)
5. **会場** (独) 農業工学研究所5階大会議室
6. **連絡先** 〒305 8609 茨城県つくば市観音台216
(独) 農業工学研究所農村計画部集落計画研究室
(担当 山下)
☎029 838 7668 Fax : 029 838 7609
Email: yamash@nkk.affrc.go.jp
正式な研究会テーマ、講師、参加申込の詳細等の開催要領は、次号に掲載します。

田園自然再生シンポジウム—自然と共生した農村づくり—開催

(農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中)



農業農村地域において自然環境保全・再生活動を行っている優良事例を表彰するとともにその成果を広く紹介し、自然と共生した農村づくりの推進を図ることを目的として実施します。

1. 日 時 平成 16 年 1 月 23 日 (金) ~ 24 日 (土)

2. 入場無料

3. プログラム

平成 16 年 1 月 23 日 (金) 13 : 00 ~ 17 : 00

[開場] 12 : 00

- ・「田園自然再生活動コンクール」表彰式
- ・表彰団体の活動報告およびディスカッション

[会場] 浜離宮朝日ホール小ホール(23 日)

東京都中央区筑地 5 3 2 朝日新聞東京本社新館内

平成 16 年 1 月 24 日 (土) 9 : 30 ~ 14 : 30

[開場] 8 : 30

- ・田んぼフォーラム

【テーマ】

農産物の生きものブランド化の可能性

田園自然保全・再生技術の現状と課題

田園自然再生に見る日本型環境教育

グラウンドワークセミナー

[会場] タイム 24 ビル セミナールーム 1+2(24 日)

東京都江東区青海 2 45

4. 申込・問合せ: 参加を希望される方は事前に、下記へお申込みください。

(社)農村環境整備センター 田園自然再生支援センター係

☎03 5645 3671 / FAX 03 5645 3675

E mail shizensaisei@acres.or.jp

URL <http://www.acres.or.jp>

主催: 農林水産省 / (社)農村環境整備センター / 田んぼフォーラム実行委員会

共催: 環境省, (財)日本グラウンドワーク協会, 都市と農山漁村の共生・対流推進会議

後援: (社)農業土木学会他